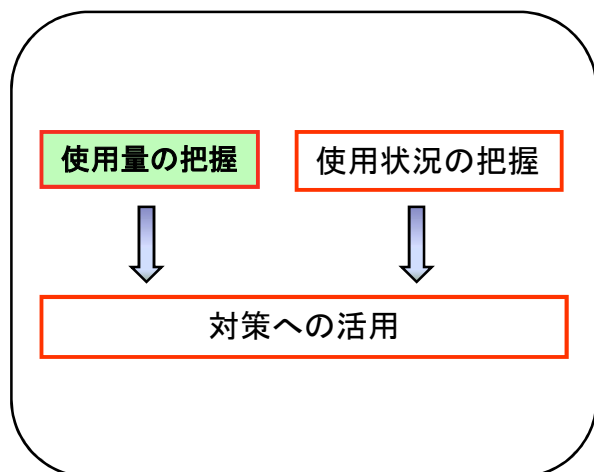


エネルギー管理の具体的な方法



使用量の把握

○月別使用量の把握



○時間単位に把握



○設備ごとに把握



計測器の設置

※計測により、全ての
使用量が把握できる

「エネルギーの見える化」は省エネの第一歩！

- ・季節変動を知る
- ・エネルギー構成比（電力・水・燃料）を知る
⇒より実態に合った省エネの取組が可能となる
- ・使用の特徴と正確な使用実態を知る
- ・同種・類似事業所と比較する
⇒個々の事業所の特徴、傾向が分かる
⇒設備や運用上の問題の是非が分かる
- ・電力使用の構成比を知る
⇒空調・照明・主要機器・その他の使用比率が分かる
- ・主要なエネルギー使用設備を把握する
⇒主要設備から省エネ対策を実施していくことが、
効率的で大きな効果が得られる
- ・機器ごとの詳細な使用量を把握する
⇒分析が容易になり、対策の効果を正確に計測できる
⇒効果的な省エネの取組が可能となる

☆有効な対策が見つかる

☆その箇所に最適な対策が実施できる

☆対策に対する効果の正確な把握が可能となる